

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分  
 【発行日】令和 4 年 11 月 11 日(2022.11.11)

【公開番号】特開 2021-188581(P2021-188581A)  
 【公開日】令和 3 年 12 月 13 日(2021.12.13)  
 【年通号数】公開・登録公報 2021-060  
 【出願番号】特願 2020-96251(P2020-96251)  
 【国際特許分類】

**F 0 2 M 35/14(2006.01)**

10

**F 0 2 M 35/10(2006.01)**

【F I】

F 0 2 M 35/14 E

F 0 2 M 35/10 1 0 1 D

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 11 月 2 日(2022.11.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

軸線が第 1 方向に延びる筒状をなす主管部と、

軸線が前記第 1 方向と交差する第 2 方向に延びる筒状の周壁を有し、同周壁に前記主管部の一端が接続されている端管部と、

前記端管部の周壁に形成されて同端管部の内部および前記主管部の内部を連通する開口部と、を備える吸気ダクトであって、

前記端管部の周壁は、前記開口部から離れた部位ほど、対向して延びる部分の間隔が狭くなっている、吸気ダクト。

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

上記課題を解決するための吸気ダクトは、軸線が第 1 方向に延びる筒状をなす主管部と、軸線が前記第 1 方向と交差する第 2 方向に延びる筒状の周壁を有し、同周壁に前記主管部の一端が接続されている端管部と、前記端管部の周壁に形成されて同端管部の内部および前記主管部の内部を連通する開口部と、を備える。前記端管部の周壁は、前記開口部から離れた部位ほど、対向して延びる部分の間隔が狭くなっている。

40